

# 本当にアツタマきたあ

おじさんの友だちに、車イスを使っている、はまぐちくんという人がいるんだよ。

今年二十五歳になったんだけど、からだにしょうがいがあつて、のうせいマヒつて言つんだ。おじさんは、はまぐちくんたちと、しょうがいのある人としょがいのない人とうが、いっしょにはたらく場所を作つていて、はまぐちくんは、そこではたらいているんだ。

そこは「しょうがい者むすびごころセンター」と言つただけだね。



ある日ね、はまぐちくんが一人で仕事をしているところへ、セールスマンがやって来たんだ。

そこね、

「ほつや、他にだれもないの。フィン、しかたないなあ。あんた一人でるす番かい。」

と話しかけてきたんだ。

「他にだれもないけりや、話してもダメだな。またべつの日に来るよ。」

と言つと、はまぐちくんの頭をグリグリとなでて、帰つちやつたんだ。

はまぐちくんは、一生けんめいしゃべつただけで、ぜんぜん聞いてくれなかつたぞうだ。

はまぐちくんは、おじさんに、その時のことを話しながら、とてもおこつてんじ。

「本当に、あつたまきたあ。」と言つてたよ。

そよ風のように街に出よう編集部刊 かわのひでただ「あつ、そうかあ」より転載

## 話しあってみましょう。

☆ 「本当にあつたまきたあ」と言った「はまぐちくん」をどう思いますか。

☆ セールスマンのとつた行動をどう思いますか。